

日時

2月22日(火) 14時～15時半頃(受付:13時半～)

場所

区役所4階 第1会議室

内容

奈良時代には、「裏」・「幞」と書いて"つつみ"と呼び、貴重な品を保管するために使われていた記録が残っているなど、布でものを包む習慣として古くからさまざまな場面で使われてきた「風呂敷」。さらに、エコの観点から今再び注目されているふろしきの、日常にも使える便利でおしゃれな活用法を体験します。

講師

ふろしき専門店 むす美 山田悦子氏

対象

市内在住・在勤・在学の方

申込方法

1月18日(火)～2月4日(金)に📞**京都いつでもコール(☎661-3755、2・3面の下部参照)**にて氏名(ふりがな)、電話番号、郵便番号、住所を明記※申込多数の場合は抽選(当選者には、参加証の発送をもって通知)

問合せ

まちづくり推進担当(☎812-2426)



参加者募集

「ふろしきつつみ」体験教室

抽選40名

無料

中京区民ふれあい事業実行委員会では、歴史や文化に関する知識を一層深めるとともに、参加者相互の交流とふれあいを深めることを目的に、ふろしき専門店「むす美」による体験教室を開催します。ぜひ、お気軽にご参加ください。

中京区民ふれあい事業実行委員会主催
令和3年度 歴史文化体験事業

第20回 中京区民グラウンド・ゴルフ大会

朱雀第八学区②チーム優勝

11月28日(日)、朱雀グラウンドで、第20回中京区民グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

今回は、36チーム(総勢144人)が参加し、大会は大いに盛り上がりました。

2コース(各8ホール)を4人1組で回り、合計のスコアで競い合う試合方式で行われ、今年は朱雀第八学区②チームが優勝しました。

問合せ まちづくり推進担当(☎812-2426)

【主な大会結果】

優勝 朱雀第八学区②チーム (160打)

2位 朱雀第二学区②チーム (160打)

3位 朱雀第六学区①チーム (163打)

4位 朱雀第四学区①チーム (165打)

5位 朱雀第八学区①チーム (167打)



京都市バレーボール祭

～チーム一丸となって!!～

11月21日(日)、京都市体育館及び市民スポーツ会館で、「第57回京都市バレーボール祭」が開催されました。

1行政区あたり3チームの出場となり、中京区からは朱雀第一学区、朱雀第二学区、朱雀第七学区の3チームが出場し、2戦2勝を果たした朱雀第二学区が優秀チームとして表彰されました。

コロナ禍において、通常通り練習や試合ができていない中で、久しぶりの大会にも関わらず、試合を楽しんでいたことが印象的でした。

問合せ まちづくり推進担当(☎812-2426)



朱雀第二学区チームの皆さん

高齢者世帯向け 防犯機能付き電話機を支給しています！

中京区では、自治連合会や各種団体などが参画する「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」中京区推進協議会において、防犯の取組を推進しています。その取組の一環として、中京区役所では、近年、高齢者を中心に多発している特殊詐欺の被害を防止するため、警告メッセージや通話録音等の防犯機能を有する電話機を支給しています。

対象者 区内に住所があり、実際にお住まいの75歳以上の方 ※その他要件があります。

支給手続 ①申請書(まちづくり推進担当窓口にて配布しています)
②申請者の居住地が確認できる書類(健康保険証・運転免許証等の身分証明書)をまちづくり推進担当へ提出

支給台数 45台(先着順)

問合せ まちづくり推進担当(☎812-2426) ※詳しくはこちらをご覧ください⇒



なかなか 中京

中京区応援サイト

なかなかやるじゃん！

中京区応援サイト「なかなか中京」公開中！

コロナ禍で頑張っておられる中京区内の事業者・団体の取組などを紹介するとともに、フラワーアレンジメント動画などご自宅でもできる取組を掲載しています！

地域活動に積極的に取り組まれ、さらに伝統産業などのスゴ技を持ち合わせた方を紹介する新コーナー「中京のすごい人」をはじめ、新コンテンツを随時更新していますので、ぜひご覧ください★

なかなか中京 検索

問合せ 企画担当(☎812-2421)



NFS 消防レター

中京消防署 ☎841-6333

備えあれば 憂いなし

「備えあれば 憂いなし」この言葉は、「準備を怠らなければ、いざという時に慌てずに済む」という意味で、防災の心構えとして、区民の皆さんもよく耳にされると思います。

この言葉は、中国の故事に由来するものですが、この言葉には前段があることをご存知でしょうか。その前段の言葉とは、「安きに居りて危うきを思う 思えばすなわち備えあり」というものです。

「平安無事なときにも危機に備え、用心を怠らない。心配りをするということが既に備えとなる。」という意味で、「備えあれば 憂いなし」に続いています。

東日本大震災から10年、阪神淡路大震災からは四半世紀が経過しました。また、運用開始後、初めて大雨特別警報が発令された平成25年台風第18号からも間もなく10年が経過しますが、幸いにもこの間に中京区内に大きな被害をもたらす自然災害の発生はありませんでした。

しかしながら、災害はいつ起こるか分かりませんし、いつ起こってもおかしくありません。「京都は大丈夫」「私の家は大丈夫」ではなく、何事もない平穏な日々の中であっても、「もし」「万一」という危機意識を忘れず、災害に備えていただきますようお願いいたします。

